

(1面のつづき)

日本共産党市議団は、公契約条例を創設して下請け業者を含む地元業者と労働者を守る仕組みを構築すべきだと訴えています。

国保税課税限度額
4万円増

国民健康保険税条例

の改正では、法令等の改正で、課税限度額の引き上げが後期高齢者支援金分で2万円アップし16万円に、介護納付金分も2万円アップし14万円に、医療分は据置きで、合計では4万円増の81万円となる提案がされました。

低所得者の税額軽減の対象世帯が拡大され、2割軽減の拡大では、所得基準額が1人35万円から45万円になり、対象世帯3人世帯で給与収入がこれまで223万円までだったものが266万円まで該当になります。

5割軽減の拡大で

は、これまで2人世帯以上が対象ですが単身世帯についても対象とされ、給与収入でこれまで147万円までだったものが178万円まで該当になります。

限度額引上げに反対1世帯1万円の減税を提言



日本共産党市議団の

加藤敏一議員は反対討論で、「社会保障・税一体改革では、市町村国保に対し国は消費税増税分から2200億円の公費を投入することを決めていたが、今回の国保税5割2割軽減拡充に500億円だけで不十分だ。

国保税の賦課限度額

は本来、資産処分など

一時的に所得が増えたときに、国保税が青天井に跳ね上がるのを防ぐために設けられたものだ。

それが平成22年度に4万円、23年度に4万円引き上げられ、今回も4万円アップで21年度と比べ12万円も増税になり、市民負担増に反対だ。

さらに、国保だけでなく、後期高齢者医療制度の保険料賦課限度額も24年度に55万円に引き上げられたものが国保に合わせ、57万円に2万円アップする。

市民は4月からの消費税増税や物価高に悲鳴を上げており、鶴岡市は国保加入者の負担軽減を図るために国保会計の基金5億円から2億円取り崩して、1世帯1万円の減税を求める」と発言しました。

もう起さぬ田に立てかける春の虹

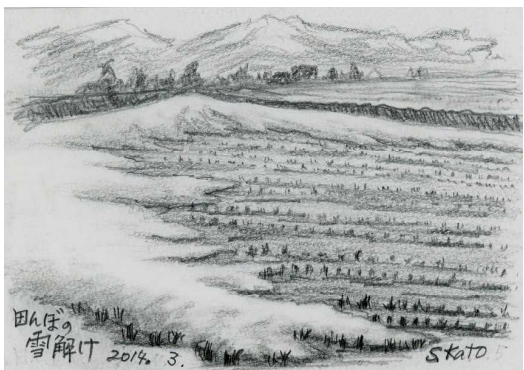
工藤 博司

刈り終えた後に一冬を過ぎた稲株ごと土を掘り返す作業を、「田起し」又は「田打ち」と呼ぶ。「田打ちころ」は、その頃に咲き競う「辛夷」が「ふし」のことである。

雪が解けたあとに現れる田面はなんとなくさびしい表情を見せるが、田仕事をはじめまっている頃になっても人の入らない、耕作を放棄されている田んぼを見るのは一層殺伐とした思いにかられる。

華やかなだけに、胸がしめつけられる思いがする。

大きな矛盾を抱えながら、しゃにむにTPP交渉の決着に突き進むもうとする日本の財界と政権の姿勢には深い怒りを覚える。農地の荒廃をこれ以上広げてはならない。



(画・加藤貞雄)

土木課入札結果 () 内は予定価格

4月24日入札分
・道田町1号線道路改良工事・大宝寺下水路新設工事 (道田町・大宝寺町地内)
落札決定保留中 (5,982,000円) 工期~10/17

南部建設事務室入札結果 () 内は予定価格

4月24日入札分
・市道清和藤掛線防雪柵設置工事(H25繰越)(三千刈地内)
山形工業(株) 8,920,000円(9,262,000円) 工期~7/31 (落札率96.3%)

羽黒庁舎入札結果 () 内は予定価格

4月22日入札分
・平成25年災 玉川農地災害復旧工事(羽黒町手向字玉川地内)
中止
・平成25年災 東増川山農地災害復旧工事(羽黒町川代字東増川山地内)
(株)丸元建設 1,760,000円(1,770,000円) 工期~5/23 (落札率99.4%)
・平成25年災 八森(2)農道災害復旧工事(羽黒町川代字八森地内)
中止
・平成25年災 向山農地・水路災害復旧工事(羽黒町川代字向山地内)
中止

安倍政権の暴走許さず、 憲法25条・9条を守ろう

鶴岡生健会が総会開催

鶴岡生活と健康を守る会(遠藤喜一郎会長)は27日に、第33回総会を開催しました。

遠藤会長は、「昨年度の活動では、生活保護の改悪に対して、全国で1万3千人が不服審査請求を行い、制度の後退を許さない意義ある行動になった」と報告。「安倍政権の暴走を許さず、憲法25条、9条を守る活動の前進と、ともにたたかう仲間を増やそう」と訴え

ました。今年度の活動方針として、「住民の生活と健康を守るために」、定期的な生活相談会、会員読者の要求アンケート・実現運動、団地訪問活動を行うことや、「組織を強く大きくするために」会員読者の親睦会の開催、会員、新聞読者の拡大などを進めることを承認しました。

総会前には、恒例のバザーを開催し財政活動を行い、総会終了後には、女性会員の皆さんが準備してくれた「孟宗汁」などを食べながら、楽しく交流会を開催しました。

来賓として加藤敏一、菅井巖両市議が参加し、加藤市議が連帯の挨拶をしました。

